

# 豊予海峡トンネル中止を



日本共産党の猿渡（えんど）久子は、別府市議4期16年の経験を活かしていつそみなさんのお役にたきたいと今年4月の県議選に挑戦しましたが、次点に終わりました。4年後は必ず県議にと決意しています。

県議会の様子や県政の問題などをお知らせしていくニュースを発行していきます。今後ともよろしく願います。

## 4年後こそは必ず2議席に

日本共産党の堤栄三県議（大分市選出）が、7月22日県議会で一般質問に立ちました。戦争法案・企業の正規雇用増・子ども医療費助成・正規教員の増員・東九州新幹線・景観・障害者年金・介護保険などの問題を質問。

えんど久子は傍聴して、多くの課題に一人で取り組む堤県議の姿に悔しく申し訳ない気持ちで、4年後は必ず県議にと決意を新たにしています。

## 戦争法反対を言わぬ知事

まず、戦争法案の問題で「安保法案は憲法違反だが、その認識はあるのか。県が管理する港湾など協力を求められたらどうするのか。国会での成立は断念をと表明すべき」と重ねて問う堤県議。広瀬勝貞知事は「戦後憲法9条が果たした役割は大きい」と言い、言うものの「国政の場で議論されるもの」と言い、憲法違反だとも反対だとも言いません。「安全保障は重要だ。施設の利用は個々具体的に判断していく」と、国言いなりの態度です。

県民を守るべき県知事が、本当に情けない態度だと腹立たしい思いです。ご一緒に戦争法の廃案に追い込むためにがんばりましょう。

## 税金の無駄づかいはやめよ

日本共産党は、一貫して大分県と四国を橋かトンネルで結ぶ豊予海峡ルートの中止を求めてきました。2003年広瀬知事は「近い将来の実現は困難」と見直しを表明。しかし、昨年年第1回定例会で「どう取り組むのか検討する時期が来た」と表明しました。

堤栄三県議は今議会で「毎年120万円の負担金を予算計上しているが明確に中止すべき」と求めました。広瀬知事は「夢のあるプロジェクトとして火を消すことなく継続していきたい」と答弁。大型公共事業でなく県民の暮らしのために税金を使わせるため、中止させましょう。

県議をめざす 日本共産党

# えんど久子ニュース

発行責任者 えんど久子  
別府市石垣西8-2-31  
Tel0977-22-6576

No. 1  
2015.8.4.

# 県議会の改革を求める

大分県議会の改革を求める申し入れ

大分県議会議長 田中 利明 殿

統一地方選挙が終わり、議長として新たな議会で今後の議会運営や議会改革など、ご奮闘されていることに敬意を表します。

さて、これまで大分県議会として、議会基本条例の制定や議員による積極的な条例提案、また常任委員会の複数日開催で多くの委員外議員が出席でき、また発言もできるようにしたことや、決算特別委員会でも委員外議員の発言の保障、議員出前講座による議会広報活動など議会改革に積極的に取り組んできました。

今期改選後会派の数も5会派から8会派に増え、新人議員も11名となりました。二元代表制の一員として県議会議員に当選した以上は、一般質問等についても「県政を問う」立場から誰でもおこなえるのが議会制民主主義だと考えます。統一地方選挙を前にして日本共産党が取り組んだアンケート結果を見ても、県議会議員に対して「税金の無駄使いをチェックしてほしい」「県民の声を良く聞いてほしい」「議会の様子を知らせてほしい」など、様々なご要望が寄せられていました。この県民の声にこたえるためにも以下のように県議会として積極的な改革を行うよう要望するものです。

## 記

- 1 一般質問について、一定例会において希望する議員が全員発言できるようにすること。  
最低でも一般質問日を3日間から4日間に延長することや一日の質問者を増や事により、議員としての一般質問の権利を最大限保障すること。
- 2 議案質疑について議会運営要領では、「一般質問枠のない会派が行うことができる」という規定は、質問に対し制限をもうけることとなります。よって誰でも議案質疑ができるように変更すること。
- 3 各議員任期中2回の海外研修（100万円以内）については、県民の暮らしが疲弊し、また県財政も厳しい折、当分の間中止すること。
- 4 議員は正規の報酬を受け取っており、さらに一日3000円の費用弁償を支給することは報酬の二重払いであり中止すること。
- 5 会派ごとに支給している政務調査費については、「税金を使う」という自覚のもとに県民に誤解を招くような用途は戒めること。

2015年6月25日

日本共産党大分県委員会  
委員長 林田澄孝  
県議会議員 堤 栄三

大分県議会では、年に1回しか一般質問が出来ない、一般質問ができる議会では議案質疑（提案されている議案や予算案に対する本会議での質疑）ができない、などの取り決め

があります。日本共産党は、これまでも改善を求めてきましたが、6月25日県議会の改革を求める申し入れを行いました。

